

大崎上島町 社協だより

No. 98

2011(平成23)年6月発行

〒725-0401 広島県豊田郡大崎上島町木江5-9
社会福祉法人 大崎上島町社会福祉協議会(TEL 62-1718)
ホームページ <http://www.syakyo.net/>



在宅介護者家族会 リフレッシュ交流事業

NHK連続テレビ小説 ～「てっぱん」の尾道へ行ってきました～



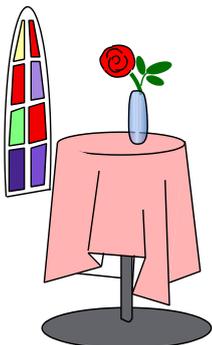
鼓岩(通称・ポンポン岩)
の上で…
うしろは断崖絶壁です。



5月13日(金)、10名で尾道に行ってきました。
前日に霧でフェリーが欠航になったので大変気をもみましたが、当日は気持ちの良い五月晴れに恵まれ、無事出発することができました。

昼食は、とてもおしゃれで美味しいフランス料理に、「こういう料理もたまにはいいね～」「デザートも美味しかったね～」と、喜んでいただきました。

たくさん歩いて、たくさん食べた尾道の旅でした。



～7月定例会のご案内～

日時 平成23年7月8日(金)
午前10時～11時30分
場所 大崎老人福祉センター
2階集会室
内容 支援センターからのお話

【問合せ先】社協・大崎支所
☎64-4178

社会福祉法人 大崎上島町社会福祉協議会

平成22年度 事業報告 & 一般会計決算報告

平成22年度 社会福祉法人 大崎上島町社会福祉協議会事業報告及び収支決算について理事会、評議員会を開催。監事の監査報告のもと全会一致でご承認いただきました。

「社協だより」で細部までお伝えすることは充分出来ませんが、資金収支決算及び重点事業の報告をさせていただきます。

収入の部

(単位：円)

No.	部 門	金 額
1	会費収入	4,373,000
2	寄付金収入	5,370,882
3	補助金収入	34,199,123
4	助成金収入	300,000
5	受託金収入	33,179,493
6	事業収入(利用料収入)	4,472,000
7	貸付事業収入(償還金収入)	864,199
8	共同募金配分金収入	3,764,991
9	介護保険収入	17,625,284
10	雑収入	150,606
11	利息収入	115,748
12	経理区分間繰入収入	6,134,000
13	退職共済預け金償還金収入	7,594,980
14	前期末支払資金残高(前年度繰越金)	17,979,416
	収 入 合 計	136,123,722

No.	部 門	金 額
8	小地域福祉活動推進事業	2,120,000
9	高齢者巡回相談員派遣事業	2,349,000
10	福祉機器貸出事業	76,160
11	生きがいデイサービス事業	4,875,885
12	外出支援サービス事業	4,206,773
13	災害見舞金支給事業	70,000
14	介護予防事業	312,852
15	福祉サービス利用援助事業	653,849
16	総合健康増進事業(共同募金一般配分)	392,000
17	療育セミナー(共同募金一般配分)	160,000
18	福祉協力指定校(共同募金一般配分)	260,000
19	家族介護者交流・ボランティア保険・大崎上島ネット事業(共同募金一般配分)	652,991
20	認知症予防・夢ハウス・よってみんない屋事業(共同募金特別配分)	2,395,200
21	かみじまネット事業(共同募金特別配分)	1,624,753
22	居宅介護支援事業	7,257,476
23	生活福祉資金貸付事業事務費	299,482
24	高額療養費貸付事業	652,839
25	民生資金貸付事業	180,000
26	福祉基金積立事業(財務支出)	107,310
27	地域包括支援センター事業	26,177,364
28	緊急雇用対策基金事業	1,562,315
29	当期末支払資金残高(次年度繰越金)	14,794,691
	支 出 合 計	136,123,722

支出の部

(単位：円)

No.	部 門	金 額
1	事務局運営費	55,162,967
2	退職金積立事業	2,005,080
3	ふれあいサロン事業	1,190,735
4	生野島出前ミニデイ事業	422,000
5	健康福祉まつり事業	1,030,000
6	保健福祉センター受託事業	5,032,000
7	地域まるごと福祉推進事業	100,000

《 次年度繰越金内訳 》 法人本部

高額療養費会	8,334,704 円
民生資金会計	3,225,447 円
基金会計(普通預金)	3,207,628 円
	26,912 円

合 計

14,794,691 円

平成22年度 事業報告

【法人運営部門】

- 保健福祉センター管理受託事業
(東野保健福祉センター、木江保健福祉センター)

【地域福祉活動推進部門】

- プラチナ世代人材育成・フォローアップ研修 (参加者 17 名)
- 小地域福祉活動推進事業「包括支援センター共同事業」
 - ・地域づくり会議の開催 (モデル 6 地区で延 31 回開催 延参加者数 571 名)
- ふれあいサロン事業 (24 ヲ所で開催 延参加者数 4,506 名)
- よってみんなさい屋中野・大串 (開催回数 158 回 延利用者数 1,842 名)
- かみじまネット事業 (協力員登録者 62 名 延利用者数 74 名)
- 広報活動 社協だより月 1 回発行 ホームページ作成
- 健康福祉まつり開催事業
(脳の老化チェック、足の裏・骨密度測定、食推バザーなど)
- 地域リーダー研修会



講演「住み慣れた家で暮らし続けられるような町に」(参加者 112 名)

- 地域福祉懇談会・座談会 (13 会場で実施 延参加者数 369 名)
- 福祉協力指定事業 (7 ヲ所の保育所、小学校、中学校、高等学校を指定)
- 地域まると福祉教育推進事業
(事業指定地区：東野小学校地域)
- 老人クラブの育成援助



大崎上島町老人クラブ連合会事務局 (健康増進・介護予防事業)

- ・グラウンド・ゴルフ大会 (2 回開催 延参加者数 276 名)
- ・高齢者スポーツ大会 (3 会場で開催 延参加者数 704 名)
- ・野外研修活動事業 (三重県 参加者数 91 名)
- ・ゲートボール大会 (1 回開催 参加者数 72 名 12 チーム)
- ・男性料理教室 (6 会場で開催 延参加者数 94 名)



○障害者団体の育成援助

- ・大崎上島町身体障害者福祉協議会事務局
- ・わかばの会活動支援



○療育セミナー開催事業及び事後相談会開催事業 (延利用者数 15 名)

- 大崎上島町遺族会事務局
- 日本赤十字社広島県支部大崎上島町分区事務局
- 広島県共同募金会大崎上島町支会事務局



○大崎上島町地域包括支援センターの受託経営

- ・地域包括ケア会議（月1回開催 延参加者数255名）
- ・特定高齢者把握事業（5会場で開催 特定高齢者数69名）
- ・介護予防学習会開催事業（21会場 延参加人数378名）
- ・認知症サポーター養成講座開催事業（20回 延参加者数440名）
- ・総合相談・権利擁護事業（延相談件数652件）
- ・介護予防サービス支援計画作成事業（延作成件数1,321件）



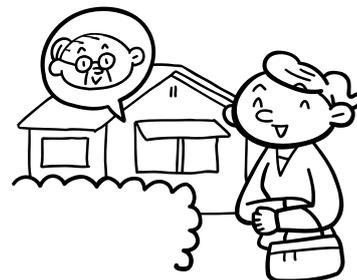
【福祉サービス利用支援部門】

- 日常生活自立支援事業「かけはし」（利用登録者6名 延利用数400回）
- 生活福祉資金貸付事業（貸付件数6件）
- 高額療養費貸付事業（貸付件数4件）
- 民生資金貸付事業（貸付件数6件）
- 災害見舞金支給事業（4件）



【在宅福祉活動推進部門】

- 大崎上島社協居宅介護支援事業
 - ・居宅介護支援計画の作成（ケアプラン作成件数643件）
 - ・介護予防サービス支援計画の作成（介護予防計画作成数130件）
 - ・要介護認定調査受託（調査件数198件）
- 生きがいデイサービス事業（利用登録者数33名）
- 生野島出前ミニデイ事業（24回開催 延参加者数192名）
- 夢ハウス事業〈認知症高齢者ケア〉（95回開催 延利用者数308名）
- 外出支援サービス事業
（利用延回数 島内3,428回 島外504回）
- 高齢者巡回相談員派遣事業
（巡回実績 一人暮らし世帯19,493回 高齢者世帯等10,585回）
- 介護予防事業
 - ・運動機能向上教室（6回開催 延利用者数73名）
 - ・口腔機能向上教室（3回開催 延利用者数52名）
- 健康教室開催事業（4教室 延141回開催 延利用者数2,388名）
- 認知症予防教室開催事業（10回開催 延参加者数67名）
- 福祉機器貸出事業（16品目 延貸出数295回）
- 在宅介護者交流支援事業
 - ・在宅介護者リフレッシュ交流事業（2回開催 延参加者数28名）
 - ・在宅介護者家族会開催事業（年12回開催 延参加者数112名）



みんなが安心して安全に暮らせるように

「地域住民による地域住民のための見守り体制づくり」

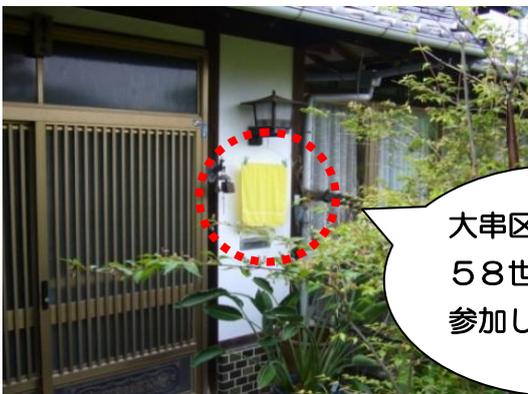
昨年度、小地域福祉活動推進事業に取り組んだ、
2地区の活動について紹介します。



●大串区で取り組む“オレンジタオル運動♪”

“オレンジタオル運動”は、朝起きたらタオルを見えやすい所に下げて、夕方になったらタオルを取り込みます。「今日も変わりなく元気です」「今日も1日無事に過ごしました」と元気を知らせるために活用します。

『他地区の住民さんから「あれは何ね」と聞かれるらしく、「あれは元気な印よ」と答えるんよ』と、大串区在住の男性の言葉でした。



大串区全体で
58世帯が
参加しています。



これだけ高い
と、遠くからで
も見えますね。



●垂水区で取り組む“命の宝箱♪”

“命の宝箱”に持病やかかりつけ医、緊急連絡先などの情報をペットボトルに入れて、自宅の冷蔵庫に保管しておきます。緊急時には救急隊員等が冷蔵庫から取り出し、適切な救急医療活動のために活用します。

「“命の宝箱”を作るのは簡単だったよ」「自宅で具合が悪くなるなど、もしも…の時も安心よ」と、垂水区在住の女性の言葉でした。



玄関と冷蔵庫のドアに
このシール
を貼っています。



ドアポケットに「命の
宝箱」が入っています。

今年度も継続して事業を実施していきます。
この島で共に安心して暮らすために、ご理解・ご協力をお願いします。





こんな活動を やっています



夢ハウス

夢ハウスは、週二回（月曜日・水曜日）「民家」を利用したコミュニケーション事業として、家庭的な雰囲気の中、昔の遊びやゲーム・小物作りなどをしながら、リラクセスして過ごしていただいています。

玄関には、色とりどりの作品で飾られた大きなすだれがあります。これは、利用者の方々が季節ごとに折り紙やちぎり絵で作った大作で、とてもきれいです。

この日は、実習生の体験日で一緒にイルカ・カニなどを作りました。

このように、いつも和気あいあいと穏やかな時間が過ぎていきます。

よってみんさい屋 大串



地域ボランティアが主体となり「だれもが集まれる場づくりを！」から始まった「よってみんさい屋大串」は民家を利用して週二回（火曜日・金曜日）開催しています。「おしゃべりがごちそう」を合言葉に多彩なメニューを展開しています。この日は月に一度の円山先生のお話の日。時折冗談を交えながら病気、ケガの対処方法や予防法などを教えていただきました。



ストレッチ教室

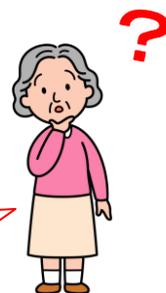
地域の高齢者等の介護予防（できるかぎり自立した生活）を目的としたストレッチ教室は、毎週水曜日、大崎産業会館で平本先生と一緒に健康増進と交流を深めています。

下肢筋力の低下は転倒、骨折につながり易く、また、人との交わり不足も心身機能低下の原因のひとつです。

タオルを使ったストレッチから始まり、馴染みの深い曲に合わせたウォーキング、思わず笑みがこぼれるゲームなど、参加者の皆さんが心地よい汗を流し「体と心の健康増進」を図っています。

5月30日～6月1日にかけて学生（実習生）が体験されました。

外出支援サービスの紹介



病院へ送迎してほしい。どこへお願いしたら良いのでしょうか

外出支援サービスを利用するには登録が必要で、対象となる要件があります。

- ① 70歳以上の単身または高齢者のみの世帯や心身障害者の方
- ② 要支援・要介護認定があること
- ③ 一般の交通機関の利用が困難で家族等からの送迎が受けられない方
(バスに乗れる方、町内に運転ができる子どもさん等がおられる方は対象となりません。)

※ このような事例は対象になりません

- ・ 隣のおばあちゃんが連れて行ってもらうけん私も…
- ・ バスで行きようけど帰りの便が悪いんよ。
- ・ タクシーはお金がかかるけん頼みたいわ～
- ・ 子どもは働きに行ってるから頼みにくくて…
- ・ 銀行に行きたいんだけど…などなど



詳しくは下記の事業所にご相談ください。対象者の状態を伺うため、訪問致します。



- | | |
|-------------------|----------|
| ★ 大崎荘在宅介護支援センター | ☎63-1112 |
| ★ 大崎美浜荘在宅介護支援センター | ☎67-5112 |
| ★ 在宅介護支援センターみゆき | ☎65-3980 |
| ★ 地域包括支援センター | ☎67-0022 |

《相談窓口・問い合わせ》



大崎上島町地域包括支援センター (担当: 谷本 小松 田原)

大崎上島町木江5-9(木江保健福祉センター内) ☎67-0022

ご寄付 ありがとうございました

お寄せいただいたご寄付は、福祉のまちづくり推進のため、有効に活用させていただきます。

【平成23年5月11日～6月8日お申し出分】

【香典返し】

- ・中野 亀田 悦子 様 (故夫 末太郎 様)
- ・ " 池田 永敏 様 (故父 守 様)
- ・ " 高田 守 様 (故父 初 様)
- ・東野 高橋 幹夫 様 (故父 正行 様)
- ・ " 藤本 民子 様 (故夫 芳正 様)
- ・福山市 花岡 夏樹 様 (故母 孝子 様)

【一般寄付】

- ・明石 明石女性会 様



大崎上島町ボランティア情報

「東日本大震災」の災害支援を体験された武内公平さんから、貴重なお話を伺うことができました。

被災地への思いを胸に...

4月2日、宮城県多賀城市を目指して出発。自家用車(軽トラ)で片道約15時間の移動時間を掛けて新潟方面からの宮城県入り。ボランティア活動は、4月4日から4月27日の間行いました。

毎朝、現地のボランティアセンターで活動内容の確認後、1グループ(7名程度)で、主に泥などを取り除く作業を行いました。



武内公平さん(中野在住)

ボランティア活動をふりかえって...

・嬉しかったこと

被災地の方がボランティアに対して、すごく温かかったこと。

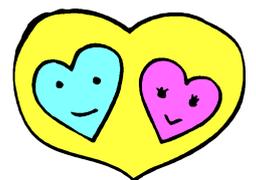
・怖かったこと

4月7日夜12時半ごろ、余震6弱…。それ以降、3日間は電気や水道が止まった。余震による危険を体感しました。

・ボランティアとして気を付けたこと

「せっかくボランティアに来たのだから、写真を撮って帰ろう」と、むやみに写真を撮らないこと。形を失った街並み・壊れた住宅にも持ち主がいます。

被災地でボランティアが守らなければならないマナーを自覚してほしい。



一日も早い復興を願って...

東日本大震災が起きてまだ、三ヶ月しか経っていないのです。これからも支援の手を緩めることなく継続してほしいと被災地への思いを募らせておられました。

武内公平さん お疲れ様でした！！

